

米子市5歳児健康診査（5歳児よなごっ子健診）について（令和4年度事業報告）

1 目的

発達、情緒、社会性、集団行動の場面等で課題のある児童を早期に発見し、児童や保護者へ早期に支援を開始するための気づきの場である。

保護者が児童の特性に気づき、より健全な育成のための支援につなげる。

保護者の就学への不安解消、児童への適切な対応や就学に向けての準備につなげる。

2 健診フロー

(1) 一次健診 「5歳児よなごっ子健診アンケート」

①対象児童の誕生月別に、年4回に分けて質問紙を郵送し、回答を返送してもらう

②保護者の回答を3段階で評価（支援の必要性が「低い」「いくらかある」「ある」）

③健診結果は郵送により全保護者に通知

(2) 5歳児相談会

①対象

・一次健診結果が「支援の必要性がある」児童で、保護者が相談会を希望する場合

・一次健診結果が「支援の必要性はいくらかある／低い」児童でも、保護者が相談会を希望する場合

②内容

・心理師による発達・子育て相談

・学校教育課指導主事による就学相談

(3) 二次健診

①対象

・一次健診結果が「支援の必要性がある」児童で、5歳児相談会ではなく、医師の診察を希望する場合

・5歳児相談会に参加した結果、保護者が医師の診察を希望する場合

②流れ

計測→問診→心理師による面談→医師の診察、子育て相談、心理・発達相談、就学相談

3 実施状況（第1～4期） 対象者数 1,324人

① 一次健診「5歳児よなごっ子健診アンケート」返送者	1,216人／1,324人（91.8%）
② 一次健診結果が「支援の必要性がある」の該当児童	258人／1,216人（21.3%）
③ 5歳児相談会又は医師の診察を希望する児童	96人／258人（37.2%）
④ 5歳児相談会又は医師の診察を受けた児童	68人／96人（70.8%）

4 対応状況

・アンケート未返送者については、はがきによる再勧奨を2回実施

・5歳児相談会・二次健診受診者については、健診後、必要に応じて巡回相談やペアレント・トレーニング等の発達支援事業を提案・実施

・一次健診アンケートより相談希望がある保護者については、心理師より電話フォローを行い5歳児相談会又は二次健診や個別相談を提案・実施

5 今後の方針

・保育施設等への巡回相談や個別相談等、発達支援事業の利用促進

・5歳児相談会・二次健診対象者の相談支援と就学移行支援を計画的に実施

・一次健診前に園と保護者が集団の様子について情報共有の機会を設け実施